

とんち彦一ばなし方言解説

作った私が根っからの八代人なので標準語にあやしいところがありますがご容赦下さい。

方言	標準語	備考
トンさん	殿様	1、トンさんの行列
あるこつば	あることを	1、トンさんの行列
むごう	ものすごく	1、トンさんの行列
まちっとで	もう少しで	1、トンさんの行列
出きらんだっけな	出て来なかったそう	1、トンさんの行列
仕返しはしゅうかと	仕返しをしようかと	2、困った米
夜のひきあけに	夜明けに	2、困った米
どうぎゃんしゅうか	どうしようか	2、困った米
はわきよせた	はき集めた	2、困った米
そるば	それを	2、困った米
うんと	いっぱい	2、困った米
ヨカ正月どんば	いいお正月を	2、困った米
おっただけな	いたそう	3、宇土のスグワラ
だまかすのが	だますのが	3、宇土のスグワラ
こやつば	こいつを	3、宇土のスグワラ
行たて	行って	3、宇土のスグワラ
こぎゃんうまかつあ	こんなにおいしいのは	3、宇土のスグワラ
アバカンたい	どこでもよ	3、宇土のスグワラ
あぶにゃ	あやうく	3、宇土のスグワラ
わがカカドンにゃ	自分の奥さんには	4、彦一の負
一本まいとたげな	一本とられていたそう	4、彦一の負
そろっと	そっと	4、彦一の負
買ち来て	買って来て	4、彦一の負
ぜにはやらでにゃおって	お金はやらないでいて	4、彦一の負
いちくろうち	飲んで	4、彦一の負
わからんごつ	わからないように	4、彦一の負
出んばんはずだが	出ないといけないはずだが	4、彦一の負
足がいんなえてきた	足が疲れてきた	4、彦一の負
ようようのこつで	やっとの思い出	4、彦一の負
むごういんなえとるごたるが	すごく疲れているようだが	4、彦一の負
二日酔いだろかい	二日酔いでしょうか	4、彦一の負
うんとばかり	大変いっぱい	5、ドジョウ汁
食えばヨカ	食べたらいいから	5、ドジョウ汁
ホケの	ゆげが	5、ドジョウ汁
わるが	おまえが	5、ドジョウ汁
もろうちきゃあもどっただけな	もらってすぐ帰っていったそう	5、ドジョウ汁
湯につかっとりなはりよ	お湯につかっておいてくださいよ	6、サンカンの狐
おめえて	大声で	6、サンカンの狐
つっこけなはんなよ	落ちないで下さいよ	6、サンカンの狐
もどっておらしたげな	帰って来ていらしたそう	6、サンカンの狐
もんだいけん	ものだから	7、地獄の彦一
たべてくたはり	食べてください	7、地獄の彦一
ほどようしなっせよ	程よくして下さいよ	7、地獄の彦一
こつだっただけな	ことだったそう	8、粉すくい
前ば来かかったら	前を通りかかったら	8、粉すくい
持って行ききるしこ	持って行けるだけ	8、粉すくい
そるばってん	だけど	8、粉すくい
ヒルネばせんばん	ヒルネをしよう	9、ヤンモチまんじゅう
太かつを	太いのを	9、ヤンモチまんじゅう

方言	標準語	備考
ほんまじゅう	本当のまんじゅう	9、ヤンモチまんじゅう
ウチあがりますばい	ひきたちますよ	10、かねのなる木
あげまっしゅ	あげましょう	10、かねのなる木
作んなっせ	作ってみなさい	10、かねのなる木
キャクさっと	腐ってる	12、キャクさる鯛
はらきゃあて	腹を立てて	12、キャクさる鯛
こぎゃん	こんなに	12、キャクさる鯛
タダのごたるげな	タダ同然らしい	13、犬になった彦一
いっさんに	一気に	13、犬になった彦一
ぶいやらしたげな	放り投げたそうだ	13、犬になった彦一
ぶげんしゃ	財産家	14、生きている絵
しこてこ	しこたま	14、生きている絵
しこ	準備	15、旗という字
うっちょこや	おこうや	15、旗という字
タキモン	たきぎ	16、太か友だち
おもさん	たくさん	17、ベンテン柿
おらすげな	いるそうだ	18、テングとかくれみの
たかんぼ	たけのつつ	18、テングとかくれみの
しょっこつにやつらで	しかたない顔をして	18、テングとかくれみの
どぎゃんとん	どんなものが	18、テングとかくれみの
さかさんたい	さかさまだよ	18、テングとかくれみの
しょんなし	しょうがなく	18、テングとかくれみの
ふっダヌキ	古狸（ふるだぬき）	19、タヌキまんじゅう
どぎゃんしたらよかるか	どうしたらいいだろうか	19、タヌキまんじゅう
どうか	どうだろう	20、彦一の水ぶろ
そーにゃ	相当（かなり）	21、おいはぎと刀
うしろさん	うしろに	21、おいはぎと刀
そればってん	だけれど	22、まつぼり
そぎゃん	そんな	22、まつぼり
まつぼり	くすねる、へそくる	22、まつぼり
ひどか目	ひどい目	23、きつねの水およぎ
こんだア	今度は	23、きつねの水およぎ
ばけち	化けて	23、きつねの水およぎ
へこまきやて	負かして・思い知らせて	23、きつねの水およぎ
とぎゃん	どんな	23、きつねの水およぎ
彦一でん	彦一でも	23、きつねの水およぎ
頭ン上がるめや	頭が上がらないだろう	23、きつねの水およぎ
とこるが	ところが	23、きつねの水およぎ
あんのじょう	思ったように	23、きつねの水およぎ
ひったまげて	びっくりして	23、きつねの水およぎ
つっこきゅうで	ころびそうに	23、きつねの水およぎ
したげなばってん	したそうなんだけれども	23、きつねの水およぎ
にやにややって	にやにやして	23、きつねの水およぎ
だっだろかとおもたりや	確だろうと思ったら	23、きつねの水およぎ
ありまっせんか	有りませんか	23、きつねの水およぎ
こないだ	この前	23、きつねの水およぎ
お城ンとこっで	お城の所で	23、きつねの水およぎ
石ばかりち	石を背負って	23、きつねの水およぎ
おえでみすっ	泳いてみせる	23、きつねの水およぎ
いわした	言われた	23、きつねの水およぎ
見せなっせ	見せて下さい	23、きつねの水およぎ
こらしもた	これはしまった	23、きつねの水およぎ

方言	標準語	備考
みょうなさむらい	変な武士	23、きつねの水およぎ
あとぐやみ	後悔	23、きつねの水およぎ
ふろしきィ	風呂敷に	23、きつねの水およぎ
石ばつつで	石を包んで	23、きつねの水およぎ
ゆわいつけ	結びつけ	23、きつねの水およぎ
へたん上	下手の上に	23、きつねの水およぎ
うんぶくれち	溺れて	23、きつねの水およぎ
いうたげな	言ったそうです	23、きつねの水およぎ
若侍たちん	若侍たちの	24、はなおうじ
着もん	着物	24、はなおうじ
着っとん	着るのが	24、はなおうじ
はやっじゃたもんな	流行しだしましたよ	24、はなおうじ
いっちよん	一つも	24、はなおうじ
武士らしゅうなか	武士らしくない	24、はなおうじ
ふれば	ふれを	24、はなおうじ
そりばってん	それだけれども	24、はなおうじ
そろっと	そっと	24、はなおうじ
歩くもん	歩く者	24、はなおうじ
おって	居て	24、はなおうじ
きかしたもんだいけん	聞かれたものだから	24、はなおうじ
とんさん	殿様	24、はなおうじ
どてん	土手の	24、はなおうじ
見ごろでっしゅな	見頃でしょうな	24、はなおうじ
花見ぱしなりますか	花見をなさいますか	24、はなおうじ
すっと	すると	24、はなおうじ
わかったらすもんだいけん	わかっているのだから	24、はなおうじ
そぎゃんたい	そうですよ	24、はなおうじ
やりまっしゅか	やりましようか	24、はなおうじ
よう晴れて	よく晴れて	24、はなおうじ
だっただげな	だっただそうです	24、はなおうじ
そん日は	その日は	24、はなおうじ
着てよか	着てよい	24、はなおうじ
いわした	言われた	24、はなおうじ
もっとる	持っている	24、はなおうじ
よかっぱ	良いのを	24、はなおうじ
そこんとこれ	そのところへ	24、はなおうじ
げさっかつの	下品な	24、はなおうじ
よそわしかつの	不潔そうな	24、はなおうじ
きたぁなかなり	きたない服装をして	24、はなおうじ
町人たちば	町人達を	24、はなおうじ
見らすと	見られると	24、はなおうじ
ばっかりゃ	ばかりは	24、はなおうじ
むごう	非常に	24、はなおうじ
こらですな	これはですね	24、はなおうじ
はなおん	鼻緒の	24、はなおうじ
しゃがにゃ	そうすると	24、はなおうじ
だあれん	誰も	24、はなおうじ
なかごて	無いように	24、はなおうじ
なっただげなたい	なっただそうです	24、はなおうじ
ながしで	梅雨で	25、はたけのうね
じゃあじな	大事な	25、はたけのうね
しょんなか	しょうがない	25、はたけのうね

方言	標準語	備考
ちいて行った	ついて行った	25、はたけのうね
よよんこし	やっどで	25、はたけのうね
かるてかり	背負って	25、はたけのうね
こっちゃん	こちらへ	25、はたけのうね
とこんの	ところの	25、はたけのうね
うっかえとる	くずれている(壊れている)	25、はたけのうね
うねん	うねの	25、はたけのうね
そしてかり	それから	25、はたけのうね
しとつとが	しているでしょうが	25、はたけのうね
そっだいけん	それだから	25、はたけのうね
ごら	頭	25、はたけのうね
そばん	近くの	26、彦一のまじない
ぶげん者	金持ち	26、彦一のまじない
あからん	だめ	26、彦一のまじない
なんな	なんですか	26、彦一のまじない
ごときい	朝早く	26、彦一のまじない
なやん	納屋の	26、彦一のまじない
はがゆうなって	はがゆくなって	26、彦一のまじない
いっそで	みんなで	26、彦一のまじない
おとこし	下男	26、彦一のまじない
ねとぼけっこして	ねとぼけたようにして	26、彦一のまじない
ぬしどんと	君達と	26、彦一のまじない
しっこする	仕事する	26、彦一のまじない
きゅうじゃなっか	来ようではないか	26、彦一のまじない
来たってたい	来たそうです	27、大ぼらふきくらべ
ちゅうて	といて	27、大ぼらふきくらべ
ゆうでけて	良くできて	27、大ぼらふきくらべ
ごたつとの	ようなのが	27、大ぼらふきくらべ
にがわりゃ	苦笑い	27、大ぼらふきくらべ
どぎゃん	どんな	27、大ぼらふきくらべ
まっとったりゃ	待っていたら	27、大ぼらふきくらべ
ふだん辻	札の辻	27、大ぼらふきくらべ
いきよりましたりゃ	行く途中	27、大ぼらふきくらべ
もろーて	もらって	27、大ぼらふきくらべ
一みゃあ	一枚	27、大ぼらふきくらべ
もどらいたげな	かえられたそうです	27、大ぼらふきくらべ
あとかり	あとから	28、梅の実
ぐっさり	たくさん	28、梅の実
しなんなよ	しなさるなよ	28、梅の実
しょぼたれて	しょんぼりして	29、とっくりのなぞ
一しゅう	一升	29、とっくりのなぞ
はってかした	行かれた	29、とっくりのなぞ
やんもせん	病気もしない	29、とっくりのなぞ
そぎゃん	そんなに	29、とっくりのなぞ
はりきやて	はらをたてて	30、彦一と大石
うもう	うまいぐあいに	32、お金もち
とつけみにゃ	とんでもない	33、木の子
とぼけた	ぼんやりとした	33、木の子
としんくれ	としのくれ	35、すすだけうり
されきよった	歩いていた	35、すすだけうり
たっか	たかい	35、すすだけうり
こうた	買った	35、すすだけうり

方言	標準語	備考
そるかり	それから	35、すすだけうり
やったりゃ	やったところが	35、すすだけうり
こりば	これを	35、すすだけうり
だっだろか	だれだろうか	35、すすだけうり
きゅう	今日	35、すすだけうり
おてちいとった	落ち着いていた	35、すすだけうり
でんだった	でなかった	35、すすだけうり
おらしたげな	住んでおられたそうです	36、いももんどう
こんふと	この人	36、いももんどう
みんばん	見よう	36、いももんどう
こぎゃん	こんなに	36、いももんどう
ほんなこたあ	ほんとうのことは	36、いももんどう
ぐりゃ	ぐらい	36、いももんどう
んにゃ	いやいや	36、いももんどう
そりが	それが	36、いももんどう
くやししゃ	くやしそうに	36、いももんどう
よくんふきゃ	よくがふかい	37、わたかい
いなかもん	田舎の人	37、わたかい
ごめんなっせ	ごめんください	37、わたかい
なかれんば	ないと	37、わたかい
まっとなっせ	待っていてください	37、わたかい
いせえで	急いで	37、わたかい
ばっかん	ばっかり	37、わたかい
じゃあて	だして	37、わたかい
いくらでっしゅか	いくらでしょうか	37、わたかい
すんまっせん	すみません	37、わたかい
だあも	だれも	38、へいのつた
見ぎゃこんし	見にこないし	38、へいのつた
せん	しない	38、へいのつた
きとったげなたい	きておったそうです	38、へいのつた
ところがたい	ところが	38、へいのつた
そるば	それを	38、へいのつた
きたてちゃ	きても	38、へいのつた
なかか	ないですか	38、へいのつた
しまわにゃ	おわらねば	38、へいのつた
わからん	わからない	38、へいのつた
だいけん	だから	38、へいのつた
しゃいもっでん	しゃにむに	38、へいのつた
うっかゆっ	こわれてしまう	38、へいのつた
よくうとれ	休んでおきなさい	38、へいのつた
言うちくるけん	言ってくるから	38、へいのつた
いたてかり	行ってから	38、へいのつた
すっとしゃが	するとどうだろう	38、へいのつた
かれちかり	枯れてしまってから	38、へいのつた
よかばい	いいですよ	38、へいのつた
こうば	これを	38、へいのつた
なましかけん	生のままだから	38、へいのつた
同じこつ	同じこと	38、へいのつた
行かんばん	行かなければならない	39、彦一のさいなん
よよんこし	ようやく	39、彦一のさいなん
ようけん	たくさん	39、彦一のさいなん
おらす	おられる	39、彦一のさいなん

方言	標準語	備考
ほんなこつあ	ほんとうは	39、彦一のさいなん
こらっさん	こられない	39、彦一のさいなん
すぐさみゃ	すぐさま	39、彦一のさいなん
しもうたげな	しまったそうです	39、彦一のさいなん
一っぴゃ	一ぱい	39、彦一のさいなん
ゆるさっさん	許してくださらない	39、彦一のさいなん
ぐるっと	ぐるりと	40、牢屋んすずめ
少なかつとこつ	少ないところ	40、牢屋んすずめ
そっだいけん	それだから	40、牢屋んすずめ
きよったげな	こちらに歩いていると	40、牢屋んすずめ
そんこつば	そのことを	40、牢屋んすずめ
おっとりよつた	盗ってしまいました	40、牢屋んすずめ
行くもんだいけん	行くものだから	40、牢屋んすずめ
しとつたげな	していたそうです	40、牢屋んすずめ
話しよつたげな	話していたそうです	40、牢屋んすずめ
じゃあて	出して	40、牢屋んすずめ
よんでかり	呼んでから	40、牢屋んすずめ
行くとしゃが	行ってみると	40、牢屋んすずめ
ほんなこつか	本当の事か	40、牢屋んすずめ
そっかり	それから	40、牢屋んすずめ
どぎゃんでんよか	どうでもいい	40、牢屋んすずめ
はよしなっせ	早くしなさい	40、牢屋んすずめ
言うとしゃがな	言ってしまうば	40、牢屋んすずめ
なかばってん	ないけれど	40、牢屋んすずめ
三十人ばっかんの	三十人ばかりの	40、牢屋んすずめ
きびられて	しばられて	40、牢屋んすずめ
ようけん	たくさん	40、牢屋んすずめ
言いながら	言いながら	40、牢屋んすずめ
ただごっじゃなか	ただごとではない	40、牢屋んすずめ
ただもんじゃ	普通の人では	40、牢屋んすずめ
ひごんやっちろん	肥後の国八代の	40、牢屋んすずめ
彦一ちゅうもん	彦一という者	40、牢屋んすずめ
しとるもん	している者	40、牢屋んすずめ
やんぼし	山法師	41、きつねとやんぼし
草はりゃ	草原に	41、きつねとやんぼし
ほらんきゃ	ほらがい	41、きつねとやんぼし
たんがって	びっくりして	41、きつねとやんぼし
にゃあて	ないて	41、きつねとやんぼし
腹んねじるごつ	腸がねじれるように	41、きつねとやんぼし
いっちゃん	一つも	41、きつねとやんぼし
そうにゃ	たいへん	41、きつねとやんぼし
なんのかんので	何やかにやと	41、きつねとやんぼし
あからんもんだいけん	だめだったので	41、きつねとやんぼし
しょてかり	前から	41、きつねとやんぼし
聞きぎゃあいったりゃ	聞きに行ったら	41、きつねとやんぼし
やさしいこつたい	やさしい事です	41、きつねとやんぼし
つけていたてかり	つけていってから	41、きつねとやんぼし
つくごっして	つくようにして	41、きつねとやんぼし
おどりゃ	腹を立てて相手にどなるよびかた	41、きつねとやんぼし
ふてめおうて	命からがら	41、きつねとやんぼし
よびもんな	よびものは	42、めかくし競走
いちいん鳥居	一の鳥居	42、めかくし競走

方言	標準語	備考
はじむっとしゃがにゃ	はじめるという	42、めかくし競走
ふたんの	二人の	42、めかくし競走
すぐじゃ	すぐに	42、めかくし競走
ひきはなちゃたてたい	引き離れたということです	42、めかくし競走
とけくっと	所へくると	42、めかくし競走
あんまりゃ	そうたくさんは	42、めかくし競走
たちゃあて	たたいて	42、めかくし競走
そっだもんだいけん	それだから	42、めかくし競走
ほんなもの	本当のものを	42、めかくし競走
いたて	行って	43、草ばんかげ
たのだけな	頼んだそう	43、草ばんかげ
やみたおす	病気をして休むこと	43、草ばんかげ
きゃあてな	貸してくださいね	43、草ばんかげ
くだりまっせんどか	くださりませんか	43、草ばんかげ
めにゃかからんごて	あうことがないように	43、草ばんかげ
むげえこつ	むごいこと	43、草ばんかげ
きゃあおうて	ふいに会って	43、草ばんかげ
とつけみにゃ	とんでもない	43、草ばんかげ
おごうどる	おがんでいる	43、草ばんかげ
いっでん	いつも	44、たぬき入道
かつがれち	だまされて	44、たぬき入道
りこさん	おりこうさん	44、たぬき入道
そぎゃんかい	そうですか	44、たぬき入道
ばくっと	ばけると	44、たぬき入道
つえばちいて	つえをついて	44、たぬき入道
としよんの	年寄りの	44、たぬき入道
あんふとば	あの人を	44、たぬき入道
たんがらせ	びっくりさせ	44、たぬき入道
どぎゃんもんでん	どんな人でも	44、たぬき入道
ひったまがるけん	びっくりしてしまうから	44、たぬき入道
きもん太かもん	肝っ玉の大きい人	44、たぬき入道
せっきって	せっせといて	44、たぬき入道
ちぢくれらしたげな	ちぢこまれたそう	44、たぬき入道
だったてたい	だったということです	44、たぬき入道
あゆみよって	歩いていると	45、彦一のぜに拾い
拾うとんごつ	拾うことのように	45、彦一のぜに拾い
うれしかこつあなか	うれしいことはない	45、彦一のぜに拾い
通りよったつば	通っているのを	45、彦一のぜに拾い
出かきゅうか	出かけようか	45、彦一のぜに拾い
されたばってん	歩きまわったけれど	45、彦一のぜに拾い
どけんも	どこにも	45、彦一のぜに拾い
そっで	そこで	45、彦一のぜに拾い
ぜんぶくろかり	金入れから	45、彦一のぜに拾い
ふしてて	すてて	45、彦一のぜに拾い
拾うてみゅうて	拾ってみようと	45、彦一のぜに拾い
草わりゃんなか	草むらの中に	45、彦一のぜに拾い
なげたばかり	なげただけ	45、彦一のぜに拾い
どぎゃんしてん	どんなにしても	45、彦一のぜに拾い
みつからん	見つけることが出来ない	45、彦一のぜに拾い
なきベすかぶって	泣きベそかいて	45、彦一のぜに拾い
まっにゃい	まじない	45、彦一のぜに拾い
さぎやて	探して	45、彦一のぜに拾い

方言	標準語	備考
うっぱすまっとった	はさまっていた	45、彦一のぜに拾い
ふろう	拾う	45、彦一のぜに拾い
あげちゃらんばんて	あげてやらなければならないと	46、彦一の経文
なかもんだいけん	ないものだから	46、彦一の経文
ぜんのかからん	お金のかからない	46、彦一の経文
あげにゃん時	あげなければならない時	46、彦一の経文
つらばだやた	顔を出した	46、彦一の経文
もんだいけん	ものだから	46、彦一の経文
ひっこむっとしゃがな	ひっこめると	46、彦一の経文
うしろん方	後の方	46、彦一の経文
ふきじゃあてしもた	吹き出してしまった	46、彦一の経文
忘れきらん	忘れることが出来ない	46、彦一の経文
ねごついいよった	寝言をいっていた	46、彦一の経文
そんとけ	そのところへ	46、彦一の経文
ひやってきて	はいってきて	46、彦一の経文
のせてみたりや	のぞいてみたところが	46、彦一の経文
ごらかしげて	頭をかたむけて	46、彦一の経文
ごてゃんかなわんで	腰をぬかしてしまって	46、彦一の経文
にゃとったり	泣いていたり	47、にらめっこ
はりきゃたり	腹を立てたり	47、にらめっこ
そっでこんだ	そこで今度は	47、にらめっこ
名人のてようで	名人だのよんで	47、にらめっこ
笑わしゅうて	笑わせようと	47、にらめっこ
しゅんて	何の変化もなくすましていること	47、にらめっこ
しとらすとたい	しておられるのです	47、にらめっこ
しみゃにゃ	最後には	47、にらめっこ
そっだいけん	それだから	47、にらめっこ
娘がえ	娘の家へ	47、にらめっこ
話しとるあいだ	話をしている間	47、にらめっこ
なんちゅう	何という	47、にらめっこ
おどか人	おうちゃくな人	47、にらめっこ
するこて	することに	47、にらめっこ
よがませち	ゆがませて	47、にらめっこ
まけんきしょくで	負けない気持ちで	47、にらめっこ
ふくるかし	ふくらせて	47、にらめっこ
たいぎゃなこらえとった	大変がまんしていた	47、にらめっこ
もてきらんで	たえきれずに	47、にらめっこ
ばたぐるって	狂いまわって	47、にらめっこ
笑いでゃあてしもた	笑い出してしまった	47、にらめっこ
そるばみっと	それを見ると	47、にらめっこ
うれっしゃして	うれしくなって	47、にらめっこ
あんびゃに	あんばいに	47、にらめっこ
よそかりもどって	他から帰って	48、ふしぎなはこ
じゃあじ	大事に	48、ふしぎなはこ
いつんみゃか	いつのまにか	48、ふしぎなはこ
さんかきいしにゃあて	三角にして	48、ふしぎなはこ
はりかかした	おこられた	48、ふしぎなはこ
いっとき考えよった	一時考えていた	48、ふしぎなはこ
まかせときなっせ	任せておいて下さい	48、ふしぎなはこ
がたかり	の家から	48、ふしぎなはこ
庄屋どんかた	庄屋さんの家へ	48、ふしぎなはこ
そうにゃ	大変	48、ふしぎなはこ

方言	標準語	備考
きゃあた	書いた	48、ふしぎなはこ
あとんものつあ	後の者のは	48、ふしぎなはこ
そうよ	全部	48、ふしぎなはこ
ぢゃちみたりゃ	出してみたら	48、ふしぎなはこ
なんでんなかったい	何でもないのです	48、ふしぎなはこ
ほんな	本当の	48、ふしぎなはこ
すかんものの	好きでない人の	49、あまんじゃく
つりよっとこり	釣っているところへ	49、あまんじゃく
おもて	思って	49、あまんじゃく
おが	俺が	49、あまんじゃく
つとった	釣っていた	49、あまんじゃく
来てしもうた	来てしまった	49、あまんじゃく
仇うちしゅうて	仇討ちしよう	49、あまんじゃく
しょるごたるが	しているようだが	49、あまんじゃく
よるくうで	よろこんで	49、あまんじゃく
ちいて来よったとん	ついて来ていたのが	49、あまんじゃく
自分がえん	自分の家の	49、あまんじゃく
とこっで	ところで	49、あまんじゃく
なんぎゃなしゃ	何気なく	49、あまんじゃく
きゃいうた	思わず言ってしまった	49、あまんじゃく
もどして	かえして	49、あまんじゃく
わりい	おまえに	49、あまんじゃく
うっちゃんひゃった	家にはいっていった	49、あまんじゃく
がわっぱ	かっぱ	50、スミくらべでカッパを負かす
おっと	俺と	50、スミくらべでカッパを負かす
とってきいとった	とるときいていた	50、スミくらべでカッパを負かす
そんかわりい	そのかわりに	50、スミくらべでカッパを負かす
もってけえ	もってこい	50、スミくらべでカッパを負かす
でけんときゃ	出来ないときには	50、スミくらべでカッパを負かす
こらあしめた	これはしめた	50、スミくらべでカッパを負かす
よるくうどった	よろこんでいた	50、スミくらべでカッパを負かす
どてで	土手で	50、スミくらべでカッパを負かす
とびこむごてしよい	とびこむようにしよう	50、スミくらべでカッパを負かす
こんくんにゃんとあ	これ位のは	50、スミくらべでカッパを負かす
つぶらんでちゃ	つぶらなくても	50、スミくらべでカッパを負かす
いっだん	尚一層	50、スミくらべでカッパを負かす
ひるうてきといて	拾ってきておいて	50、スミくらべでカッパを負かす
とびこうだた	とびこんだのは	50、スミくらべでカッパを負かす
いせいで	急いで	50、スミくらべでカッパを負かす
きもん	着物	50、スミくらべでカッパを負かす
そりかり	それから	50、スミくらべでカッパを負かす
いっときして	しばらくして	50、スミくらべでカッパを負かす
こっでこらえちくんなり	これでこらえて下さい	50、スミくらべでカッパを負かす
しっとらんけん	尻をとらないので	50、スミくらべでカッパを負かす
しりとらんごつ	尻をとらないように	50、スミくらべでカッパを負かす